

町民パブリックコメントを受けた 来年度町予算に係わる削減案の内容

1月28日、町から町民パブリックコメントを受けた来年度予算に係わる削減案などの内容が議会に示されました。その概要は下記のとおりです。

○入学祝い金（小学校5万円、中学校3万円）は現行どおり。

○「やすらぎ」の風呂は100円値上げするが、営業日は現行どおり（日曜日も営業）。

○福祉基金（注1）を財源として用いなくても予算構成ができ、3億円の財政調整基金（注2）は確保できる。

○美術館の今後の方向性はR3年度に決定するが、R4年度までは続ける。

○R4年度に減災基金（注3）を使い町借金の返済を繰り上げて行い、実質公債比率の（注4）抑制を図る。

○行政改革推進委員会で議員定数を審議するよう要請する。

○理事者の報酬削減は更に検討する。

注1（福祉基金）町の福祉に関する事業に充てるため積み立てた基金（貯金）

注2（財政調整基金）財源不足や緊急の支出に備えて積み立てた基金

注3（減債基金）町の借金（地方債）の返済を計画的に行うために積み立てた基金

注4（実質公債比率）町の標準財政規模（収入額）に対する町借金の年度返済総額の比率を示す指数。18%以上の数値になると借金を起こすのに許可が必要となる。

共産党池田支部の2021年度町政要望書に対する町の回答（2021年2月10日回答）

◎主な前向きな回答

○サイクリングを活かした観光施策の推進を。

⇒早期に展開できるよう関係者で協議したい。コロナ禍を考え開始時期は慎重に判断。

○来年度も、小中学校の町費加配の教育支援員の配置を。⇒配置できる予定。

○かえで広場の遊具を町民の声を聴き設置を。⇒町民の声を聴き、R4年度整備を計画。

○島木赤彦・岡 麓・浅原六朗などの文化資源を活かし、「短歌・俳句の里」づくりへの取り組みを。⇒現在、詩・俳句・短歌のコンテストの作品募集中であり、R3年度は短歌づくりの講座を行う。

○介護保険制度や国民健康保険制度の国・県の負担割合を増やすよう要請してください。

⇒引き続き、全国町村会や国保連合会を通じ要望する。

この他に防災項目などで前向きな回答がありますが、後日紹介できればと思います。

